

# 平成30年度 地域福祉研修 開催要領

1 目的 地域包括ケアシステムや「我が事・丸ごと」地域共生社会実現本部における地域包括支援体制の構築と地域への取り組み強化に向けた検討、社会福祉法人の地域における公益的な取組など、社会福祉の実践として「地域」への働きかけが強調・推進されようとしている。本研修は、利用者個人だけでなく地域に働きかけ、地域住民と協働する福祉専門職の養成に向け、地域福祉の基本を習得することを目的として開催する。

## 2 目標

- ①地域福祉の全体像と受講者自らの業務との関係性を理解する
- ②生活課題を抱える当事者と地域、福祉専門職が協働し、支え合うことの意義を理解する
- ③地域のもつ力、資源、課題を見立てる（アセスメント）視点と方法を理解する
- ④地域にアプローチする上での姿勢と方法を理解する
- ⑤社会資源の開発とその方法を理解する

## 3 日時

1日目	平成30年8月6日（月）10:20～16:30	兵庫県社会福祉研修所 3階 中研修室
2日目	平成30年8月7日（火）10:20～16:30	
3日目	平成30年9月11日（火）10:20～16:30	
4日目	平成30年10月9日（火）10:20～16:30	

## 4 受講対象

地域福祉に関心のある社会福祉従事者（※）で、次の要件の方

- ①実務経験が3年以上の方
- ②全日程参加できる方

### ※社会福祉従事者

- ①県内社会福祉協議会の地域担当部・ボランティアセンター職員、日常生活自立支援事業・生活資金貸付事業等の担当職員
- ②地域包括（在宅介護）支援センター・居宅介護支援事業所・障害（児）者の相談支援事業所・児童家庭支援センター・生活困窮者自立相談支援事業所等の相談援助職
- ③生活支援コーディネーター
- ④行政機関（福祉事務所のケースワーカー等）の相談援助職
- ⑤社会福祉施設・事業所（デイサービスなどの通所施設含む）における生活相談員、生活支援員、児童指導員
- ⑥保育所、認定こども園の保育士
- ⑦その他、地域福祉に関心のある社会福祉従事者

5 定員 50名（原則、先着順）

6 受講料 20,000円（4回分、テキスト代含む）

## 7 申込方法

別紙の受講申込書及び事前アンケートに必要事項をご記入のうえ、下記宛に郵送でお申込みいただくか、FAXでお申込ください。FAXでお申込をされる場合は、必ず送信確認の電話をお願いします。

※この研修はホームページでの申込ができませんのでご注意ください。

8 申込締切 平成30年7月18日（水）必着

## 9 プログラム

講師	藤井 博志氏	関西学院大学 人間福祉学部 教授
	所 めぐみ氏	関西大学 人間健康学部 教授
演習指導	井上 義幸氏	豊岡市社会福祉協議会 総合相談・生活支援センター 主任
	小椋 智子氏	社会福祉法人ゆたか会 小規模多機能型居宅介護事業所 所長
	音川 礼子氏	西宮市社会福祉協議会 共生のまちづくり課 生活支援コーディネーター
	神谷 宣氏	西宮すなご医療福祉センター 相談支援事業所 相談支援専門員
	久山 啓氏	社会福祉法人神戸真生塾 子ども家庭支援センター長
	坂本 幸枝氏	三木市社会福祉協議会 ボランティア活動プラザみき 副所長
	中川 優一氏	社会福祉法人みつみ福祉会 みつみ生活サポートセンター 圏域コーディネーター
	永坂 美晴氏	明石市社会福祉協議会 地域総合支援センター 地域支え合い推進担当係長
	三多久実子氏	さかもと医院居宅介護支援事業所 管理者

### (1日目)

日時	研修科目	研修内容
10:20	開講／オリエンテーション	
10:30 ～ 12:00	<b>単元 1</b> 「地域福祉の全体像をつかもう」	1 研修の全体像理解 2 地域福祉実践の全体像理解 3 地域福祉における受講者各自の立ち位置の再認識
12:00	昼食休憩	
13:00 ～ 14:00	<b>単元 2</b> 「地域って何？」	1 地域をみる必要性の理解 2 どのように地域をみるのかの理解
14:00 ～ 16:20	<b>単元 3</b> 「その人らしい暮らしと地域Ⅰ」 ※適宜、休憩が入ります	1 地域生活支援における地域の見方と専門職の役割の理解 2 地域生活支援において地域・自治体に必要な条件の理解
16:20 ～ 16:30	翌日研修に向けた振り返り・オリエンテーション	
16:30	1日目終了	

### (2日目)

日時	研修科目	研修内容
10:20	開講／オリエンテーション	
10:30 ～ 12:00	<b>単元 4</b> 「その人らしい暮らしと地域Ⅱ」	1 『ひとりの課題』を『みんなの課題』への視点と地域の基盤づくりとは何かの理解
12:00	昼食休憩	
13:00 ～ 15:30	<b>単元 5</b> 「当事者・地域・専門職が一緒に創る地域福祉とその醍醐味」※適宜、休憩が入ります <b>【登壇者】</b> セルフヘルプグループ、地域福祉活動者（調整中）	1 地域で活動する住民の思いを理解する 2 地域住民と専門職の関係性を理解する
15:30	休憩	
15:45 ～ 16:30	振り返り・まとめ	1 2日間の学びの確認と共有 2 疑問点の明確化とその解消
16:30	2日目終了	

**(3日目)**

日時	研修科目	研修内容
10:20	開講／オリエンテーション	
10:30 ～ 12:00	<b>単元 6</b> 「住民主体の地域づくりを支える －地域へのアプローチの基本－」	1 地域へのアプローチ方法（コミュニティワーク）の基本
12:00	昼食休憩	
13:00 ～ 14:15	<b>単元 7</b> 「地域向け事業・活動の企画の基本」	1 地域向け活動・事業の見立て方とアプローチ方法の基本の理解
14:15	休憩	
14:30 ～ 16:15	<b>単元 8</b> 「地域づくり支援のプロセス」	1 プロセス・チャート演習により地域づくり支援の実践的なプロセスの理解
16:15	休憩	
16:20 ～ 16:30	次回研修に向けた振り返り・オリエンテーション	
16:30	3日目終了	

**(4日目)**

日時	研修科目	研修内容
10:20	開講／オリエンテーション	
10:30 ～ 12:00	<b>単元 9</b> 「地域アプローチの実際～醍醐味・苦勞を一緒に感じよう～」 【登壇者】（調整中）	1 地域で協働し、ネットワークをつくる上での視点と方法の理解
12:00	昼食休憩	
13:00 ～ 15:30	<b>単元 10</b> 「学びを実践へ ～ネットワークと資源開発の力をつける～」 ※適宜、休憩が入ります	1 ネットワークと資源開発の基本の理解 2 4日間の学びを実践に生かすための視点と方法
15:30	休憩	
15:45 ～ 16:30	振り返り・まとめ	1 4日間の学びの確認と共有 2 疑問点の明確化とその解消
16:30	4日目終了	

## 10 受講決定

\* 受講の可否について、受講決定通知を郵送いたします。

\* 受講料は受講決定通知に同封する払込取扱票にて、期限までに郵便局でお支払い願います。

## 11 キャンセルについて

\* 平成 30 年 7 月 30 日（月）までにキャンセルされる場合は、受講料を返金します。

\* 平成 30 年 7 月 31 日（火）以降のキャンセルの場合は、受講料の返金はいたしません。研修資料の送付をもって代えさせていただきます。

## 12 その他

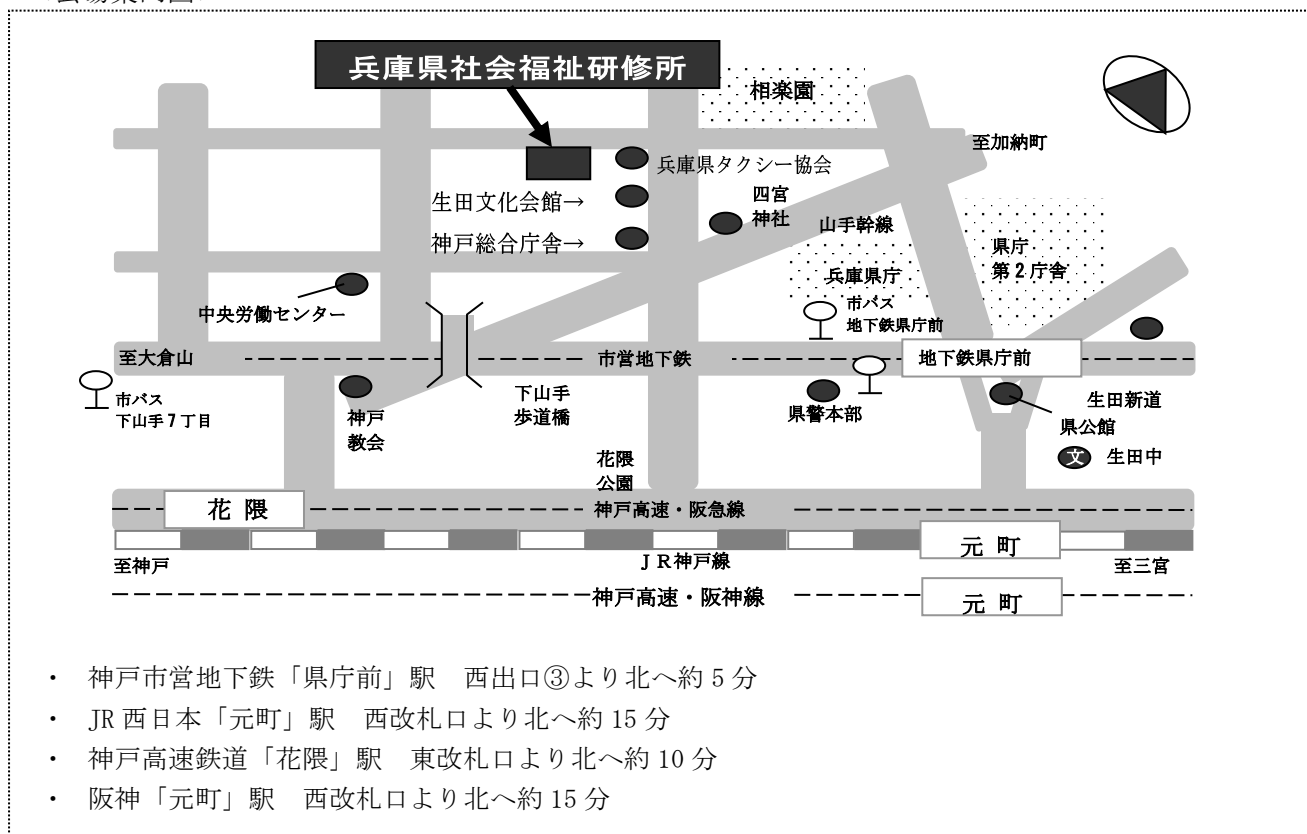
\* 欠席等をされる場合は、必ず事前にご連絡をお願いいたします。

\* 駐車場がありませんので、会場へは公共交通機関をご利用の上お越しください。

\* 空調設備の微調整が難しいため、着脱して体温調整が可能な服装でお越しください。

\* 天候の状況等により研修を延期・中止する場合は、前日午後 6 時に社会福祉研修所ホームページ (<https://hfkensyu.com/>) でその旨をお知らせします。

### <会場案内図>



### <申込・問合せ先>

兵庫県社会福祉協議会 社会福祉研修所 研修第 1 部（担当：宿院・塩谷）

〒650-0004 神戸市中央区中山手通 6-1-30

TEL：078-367-3001 / FAX：078-367-4522

URL：<https://hfkensyu.com/>

平成 30 年 月 日

平成 30 年度 地域福祉研修 受講申込書

兵庫県社会福祉協議会  
社会福祉研修所長 様

機関・団体名 \_\_\_\_\_

所属長名 \_\_\_\_\_ ㊟

下記のとおり申込みます。

(平成 30 年 6 月 1 日現在)

フリガナ		性別	男・女	年齢層	歳代
氏名					
勤務先 事業所名					
勤務先 所在地	〒	TEL :	( )	FAX :	( )
		E-mail :			
社会福祉職 場の経験年 数 (通算)	年 カ月				
役職名					
現在の主な 担当業務	※あてはまるものに○を入れてください。 1. 相談援助職・ソーシャルワーク 2. 地域援助職・コミュニティワーク 3. 介護職・ケアワーク 4. その他 ( )				
資格取得 状況	※あてはまるものに○を入れてください。 1. 社会福祉士 2. 社会福祉主事 3. 介護支援専門員 4. 精神保健福祉士 5. 相談支援専門員 6. 介護福祉士 7. 看護師・保健師 8. その他 ( ) 9. 特になし				
勤務先種別	※あてはまるものに○を入れてください。 1. 社会福祉協議会 2. 地域包括 (在宅介護) 支援センター 3. 居宅介護支援事業所 4. 障害 (児) 者の相談支援事業所 5. 児童家庭支援センター 6. 生活困窮者自立相談支援事業所 7. 行政機関 8. 社会福祉施設 (施設種別 ) 9. 保育園・認定こども園 10. その他 ( )				
備考					

《ご記入に際しての注意事項》

- \* 該当する事項に記入または番号に○をつけてください。
- \* 事前アンケートとともに、受講申込をしてください。
- \* 2名以上お申込みの場合は、本申込書をコピーいただき、1人につき1枚ご記入ください。

※個人情報保護法に基づく取り扱い

- (1) 「受講申込書」に記載された個人情報は、本研修業務の運営以外の目的に使用することはない、また、その管理については、兵庫県社会福祉協議会「個人情報保護規程」に基づき適正に行い、無断で第三者に提供することはありません。
- (2) 演習等の活用及び受講者相互の情報交換、交流を円滑に行うことを目的として、氏名、所属名 (事業所名)、勤務先種別を記載した「受講者名簿」を作成し、当日受講者に配付します。

申込締切：平成 30 年 7 月 18 日 (水) 必着

## 平成 30 年度 地域福祉研修 事前アンケート

機関・団体名 ( )

氏 名 ( )

- 標記研修の事前アンケートとして、受講希望者は次の内容にお答えいただき、受講申込書とともにご送付ください（なお、同アンケートは1部コピーのうえ受講者がお持ちください）。
- 本アンケートは、次の3点を目的としています。

- ①ご自身の研修受講目的を明確にさせていただくことで、研修効果を高めます。
- ②事務局・講師陣で共有し、本研修のプログラム運営に反映にします。
- ③研修実施後のアンケートと比較して研修効果を検証し、より良い研修につなげます。

設問 1 | 本研修の受講動機は何ですか。一番近いもの1つに○を入れてください。

1. 今回の研修テーマは直接業務に関係がないが、職場からの指示で受講する。
2. 今回の研修テーマは直接業務に関係がないが、関心があるので受講する。
3. 地域と連携した利用者支援や地域へのアプローチが自分の業務に含まれるが、方法がわからず着手できていないので受講する。
4. 地域と連携した利用者支援や地域へのアプローチを実践しているが、悩みや課題があるので受講する。

設問 2 | あなたの日ごろの業務の中で、地域住民との連携・協働はどの程度ありますか。もっとも近いものに1つ○を入れてください。

1. まったくない
2. ケースによっては連携・協働している
3. ケースがある・ないに関わらず、地域の馴染みの住民とのやり取りがある
4. ケースがある・ないに関わらず、地域課題を一緒に解決するために動いている
5. その他( )

設問 3 | あなたが、地域住民との連携・協働を進めていく上で、「壁」(＝課題)と感じておられることは何ですか。箇条書きで記載ください。

- アンケート記載内容は、研修の実施及び評価以外には一切使用いたしません。
- 研修と評価で使用する場合も個人名は公表しません